

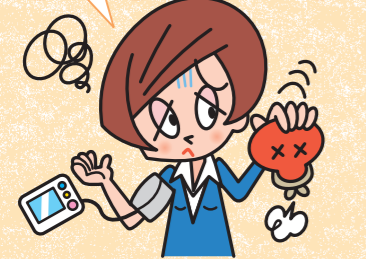
薬代けっこうかかっていませんか？



ジェネリック医薬品に 変えると みんなが **おトク** に！

病院にて

症状は安定しているから薬は合っていると思うけど、薬代がかさむなあ



高血圧で月1回通院しているAさん

薬局にて

ジェネリック医薬品を使ってみたいけど、薬を変えるのは不安だなあ



糖尿病で2カ月に1回通院しているBさん

自宅にて

子どもの薬代がけっこうかかるなあ



高校生の息子がぜん息のCさん

ジェネリック医薬品に変えると、こんな節約効果が！

Aさん

1日1回3種類	1年間服用した場合
先発医薬品	約65,000円
ジェネリック医薬品	約26,000円

3割負担の場合

本人	約11,700円	節約
国保組合	約27,300円	

Bさん

1日2回3種類	1年間服用した場合
先発医薬品	約48,000円
ジェネリック医薬品	約30,000円

3割負担の場合

本人	約5,400円	節約
国保組合	約12,600円	

Cさん

1日2回2種類	1年間服用した場合
先発医薬品	約56,000円
ジェネリック医薬品	約36,000円*

3割負担の場合

本人	約6,000円	節約
国保組合	約14,000円	

上記の金額は薬剤料のみの試算で、このほかに調剤技術料や薬学管理料などが加算されます。先発医薬品は代表的なもの、ジェネリック医薬品は最も安いもの一例です。*1種類をジェネリック医薬品に変えた場合の例。

そんなみなさんに**朗報**です。先発医薬品に対して、価格の安いジェネリック医薬品(後発医薬品)に変えると、自己負担額が軽くなるので、おトクです。処方せんの様式も変わり、よりジェネリック医薬品に変更しやすくなりました。みんながおトクになるために、ジェネリック医薬品に変えませんか？次ページのような「**おトクになるコトバ**」があります。



ジェネリックの疑問 その①

ジェネリック医薬品はなんで安いのか？

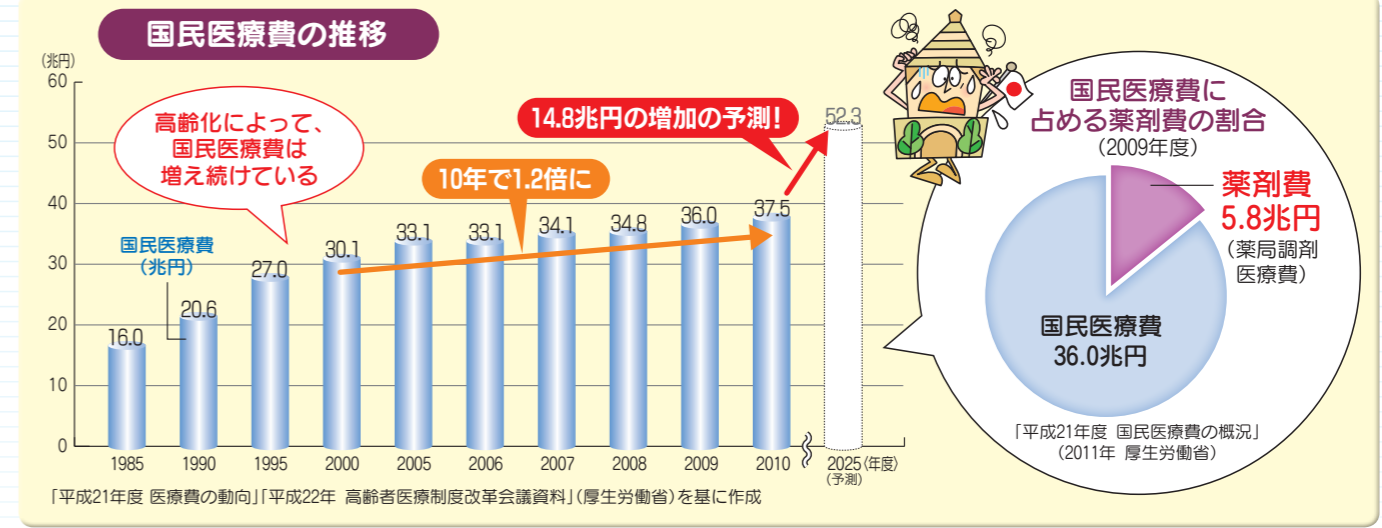
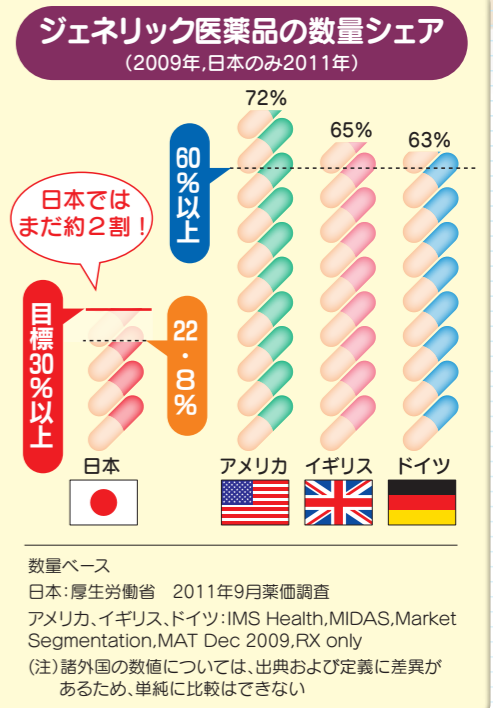
ジェネリック医薬品は、有効性や安全性が確認されている先発医薬品の特許が切れたあとに、同じ有効成分を使って作られるため、開発費用を抑えることができ、大幅に安いのが特徴です。先発医薬品に比べてジェネリック医薬品は2~3割の価格で、平均すると約半額といわれています。



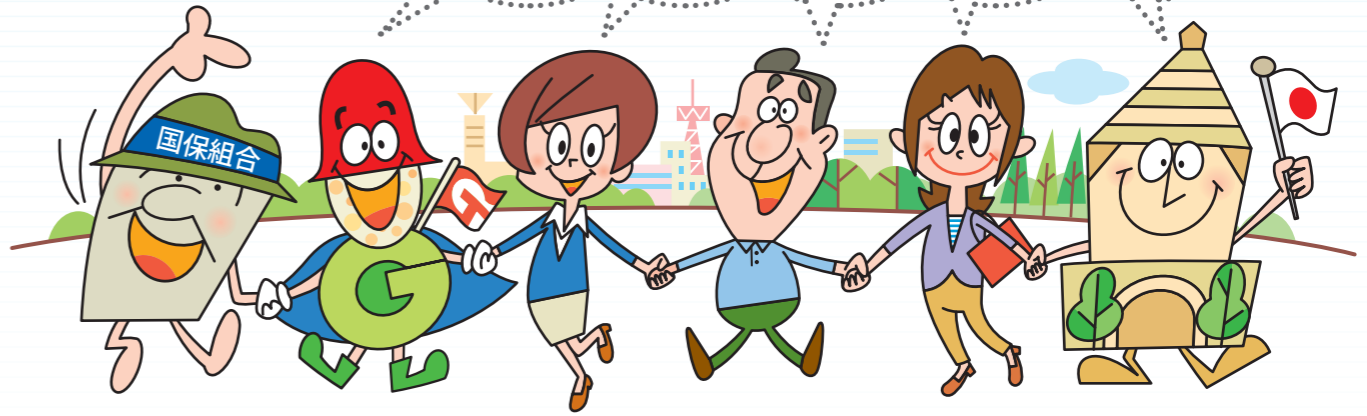
なんでジェネリック医薬品の使用がすすめられるの？ みんなが **おトク** になるためです。

ジェネリック医薬品に変えると、みなさんの薬代費の自己負担が軽くなります。被保険者の自己負担は1~3割ですが、残りは国保組合が負担しています。みなさんがジェネリック医薬品への切り替えを進めていただくことができれば、国保組合の負担も軽減されます。ジェネリック医薬品使用割合は、日本は約2割(数量ベース)しかなく、これを3割にするのが目標です。さらに財務省の資料※1によると、先発医薬品(ジェネリック医薬品があるもの)をジェネリック医薬品に変えると国全体で1.3兆円の削減効果があると！

社会の高齢化・医療の高度化の影響で、国も国保組合も医療費の負担増に苦しんでいます。いつでも医療機関にかかれる日本の医療制度は、世界的にも恵まれた制度です。必要な医療を確保するためにも、節減できるところはぜひ節減をお願いします。



このひとことで みんなが **おトク** に！ ジェネリック医薬品に変えられますか？





ジェネリック医薬品 に 変える

こんなとき

こうすれば

おトクに!

自宅にて
高校生の息子がぜん息のCさん

薬局にて
糖尿病で2カ月に1回通院しているBさん



ジェネリック医薬品を検索するお役立ちサイト
かんじゃさんの薬箱
<http://www.generic.gr.jp/>
日本ジェネリック医薬品学会



「お試し調剤」で様子を見る

ふだん服用している薬をジェネリック医薬品に変更するのが不安な場合は、「お試し調剤」で試してみたいかがでしょうか。慢性疾患などで長期に服用する薬を処方された場合など、最初の1週間くらいジェネリック医薬品に変えてみて様子を見ることもできます。合わないようなら他のジェネリック医薬品や以前服用していた先発医薬品に変えることもできます。

**処方せんを
チェックしてみましょう**
2012年4月から処方せん様式が変わり、薬ごとにジェネリック医薬品への変更の可否を明示するようになりました。また、薬の「商品名」ではなく「有効成分名（一般名）」を医師が処方せんに記載すると、処方せん料に加算されることになりました。この変更により、複数の薬のうちのひとつを変更できたり、薬局でジェネリック医薬品に変更できるなど、ジェネリック医薬品の利用促進につながる事が期待されています。

おトクになるコトバ

病院にて
「ジェネリック医薬品を使えますか？」

薬局にて
「ジェネリック医薬品に変えられますか？」

自宅にて
「ジェネリック医薬品があるか調べてみよう」

注意!
先発医薬品の特許が切れていないなどジェネリック医薬品がないものもあります。また、医師の治療上の方針からジェネリック医薬品に変えられない場合もあります。

病院にて
高血圧で月1回通院しているAさん



とくに慢性疾患など、長期に薬を使う人はジェネリック医薬品に変えることでおトク度がアップ

ジェネリックの疑問 その①

いつもの薬局にジェネリック医薬品がない場合は？

処方せんの有効期限は発行日（受診日）を含めて4日間で、全国どこの薬局でも処方せんを受け付けています。いつもの薬局にジェネリック医薬品を置いていない場合は、「ジェネリック医薬品推奨マーク」を取得している薬局で購入してはどうでしょうか。以下のサイトで検索できます。

http://www.generic.gr.jp/srch_pre.html

ジェネリック医薬品推奨マーク

日本ジェネリック医薬品学会で取りまとめているジェネリック医薬品を積極的に扱っている薬局に配付されるマーク

ジェネリックの疑問 その②

ジェネリック医薬品は効くの？

先発医薬品で効果が確認されている同じ有効成分を使ってジェネリック医薬品は作られているので、効果は同等と考えられています。薬事法による品質基準をクリアしています。

先発医薬品
薬事法による品質基準をクリア
特許期間 20~25年
安全性・有効性の確立
新しく開発された薬（先発医薬品）は、開発メーカーによって独占的に製造・販売できる特許期間がある

ジェネリック医薬品
薬事法による品質基準をクリア
特許期間満了後 製造・販売
先発医薬品の特許期間満了後に、効能や安全性が先発医薬品と同等であると厚生労働大臣に承認されたあとに、販売される